

2020年度第1四半期決算 電話会議 資料

2020年8月7日（金）

立ちどまらない保険。

MS&AD

INSURANCE GROUP

本日のポイント

2020年度第1四半期 業績

- 四半期純利益は7億円増益の966億円。進捗率は74.3%
- グループ修正利益は△308億円減益の820億円。進捗率は45.6%

<新型コロナの影響>

- 新型コロナに起因するインカードロスは、国内損保子会社で21億円、海外保険子会社で118億円、合計で140億円。
- 交通量減少の影響により自動車保険のインカードロスは前年同期比△226億円減少。
- 海外保険子会社では金融市場の急変動を主因にした損失の発生により資産運用損益が悪化。

<その他の特殊要因>

- 2021年度からの連結納税制度適用を前提とした会計処理により税金費用が203億円減少。
- Phoenix社の株価回復により、ReAssure社売却損失引当金の戻入81億円が発生。

全体目次

2020年度第1四半期決算の概要

グループ連結	P5-12
国内損害保険会社	P13-15
国内生命保険会社	P16-17
海外保険子会社	P18
（参考）国内損害保険会社主要 2 社の業績概要	P19-21
（参考）MS Amlin 業績概要	P22
（参考）ESRの状況	P23

※決算データにつきましては、当社ホームページに掲載しています「国内損保決算データ集(Excelファイル)」もご参照ください。

2020年度第1四半期決算の概要

損保子会社

(億円)

	2019年度 第1四半期	2020年度 第1四半期	前年同期比	増収率
元受正味保険料(除く収入積立保険料)	10,384	10,107	△ 276	△ 2.7%
正味収入保険料	9,768	9,434	△ 333	△ 3.4%
三井住友海上	3,787	3,754	△ 32	△ 0.9%
あいおいニッセイ同和損保	3,179	3,123	△ 56	△ 1.8%
三井ダイレクト損保	90	92	1	1.7%
海外保険子会社	2,702	2,464	△ 237	△ 8.8%

生保子会社

(億円)

	2019年度 第1四半期	2020年度 第1四半期	前年同期比	増収率
保険料(グロス収入保険料)*	3,759	1,990	△ 1,768	△ 47.1%
三井住友海上あいおい生命	1,225	1,204	△ 20	△ 1.7%
三井住友海上プライマリー生命	2,534	785	△ 1,748	△ 69.0%
生命保険料	2,984	498	△ 2,485	△ 83.3%

* 保険料(グロス収入保険料)は国内生保子会社のみ

グループ連結(2020年度第1四半期)①業績の概要 1(トップライン)

(損保子会社[国内・海外])

- ・正味収入保険料は国内損保子会社、海外保険子会社ともに減収となり、前年同期比△333億円、△3.4%の減収。
- ・国内損保主要2社の正味収入保険料は△89億円の減収。再保険コストの増加、自賠責保険の減収などが要因。
火災保険は2019年10月の料率改定効果もあり元受ベースでは増収となったものの、再保険コストの増加により正味ベースでは減収。海上保険は新型コロナの影響による物流量の減少により減収。自動車保険は増収となったものの、自賠責保険は車検台数および新車販売台数の減少により減収。
- ・海外保険子会社の正味収入保険料は、円高影響(△155億円)および引受規律の強化やMS Amlinにおける不採算種目からの撤退等もあり△237億円の減収。

(国内生保子会社)

- ・MSA生命:16ページを参照
- ・MSP生命:17ページを参照

（億円）

	2019年度 第1四半期	2020年度 第1四半期		
			前年同期比	増減率
経常利益	1,179	1,101	△ 78	△ 6.6%
三井住友海上	863	834	△ 28	△ 3.3%
あいおいニッセイ同和損保	334	441	107	32.1%
三井ダイレクト損保	19	13	△ 5	△ 28.2%
三井住友海上あいおい生命	46	78	31	69.1%
三井住友海上プライマリー生命	△ 36	86	123	-
海外保険子会社	120	△ 242	△ 363	△ 300.8%
その他・連結調整等	△ 168	△ 110	57	-
四半期純利益*	959	966	7	0.7%
三井住友海上	658	626	△ 31	△ 4.8%
あいおいニッセイ同和損保	239	309	70	29.4%
三井ダイレクト損保	17	12	△ 4	△ 28.4%
三井住友海上あいおい生命	20	48	28	141.3%
三井住友海上プライマリー生命	52	55	3	6.7%
海外保険子会社	98	△ 259	△ 358	△ 363.9%
その他・連結調整等	△ 125	173	299	-

※連結の四半期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益。子会社の四半期純利益は出資持分ベース。以下同じ。

グループ連結（2020年度第1四半期）①業績の概要 2（ボトムライン）

< 四半期純利益 >

（グループ連結）

- ・四半期純利益は7億円増益の966億円。海外保険子会社は減益となったものの、国内損保子会社、国内生保子会社の増益および連結納税導入影響やReAssure社売却損失引当金の戻入などにより7億円の増益となった。

（国内損保子会社）

- ・保険引受利益は元受保険料の増収および消費税増税に伴う手数料の増加や大規模システムのカットオーバーなどにより事業費が増加した一方、自動車保険のインカードロスの減少や異常危険準備金の取崩増により増益。
- ・資産運用損益他は有価証券売却益や利配収入の減少により減少。
- ・国内損保主要2社の四半期純利益は38億円の増益。

（国内生保子会社）

- ・MSA生命は責任準備金繰入負担の減少などにより28億円の増益。
- ・MSP生命はほぼ前年同期並み。

（海外保険子会社）

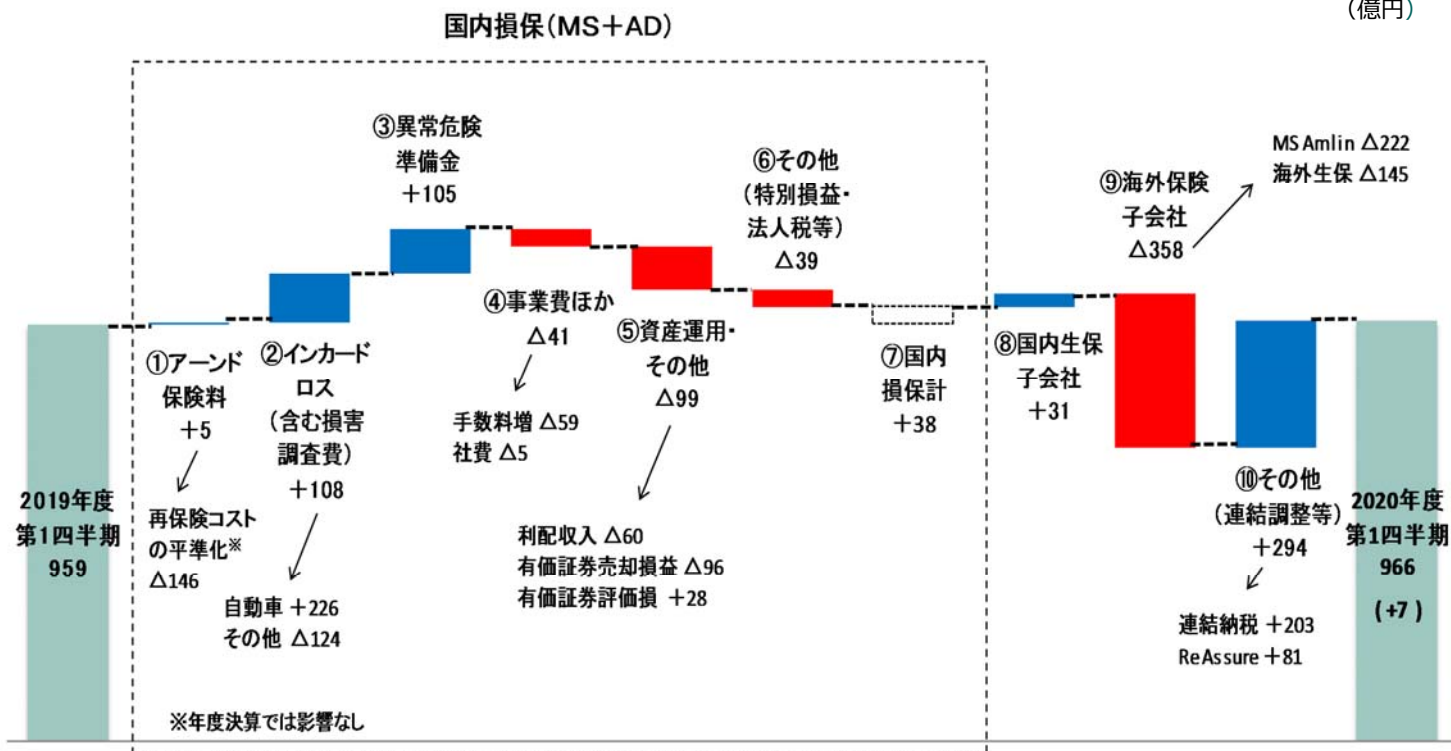
- ・新型コロナの影響（インカードロス・金融市場変動による評価損等の発生）等によるMS Amlinの減益および海外生保の減益を主因に△358億円の減益。

グループ連結（2020年度第1四半期）②前年同期との比較 1

- ・国内損保主要2社は、④の事業費ほか、⑤の資産運用・その他がマイナス要因となったものの②のインカードロスの減少、③の異常危険準備金などがプラス要因となり38億円の増益。
- ・⑨の海外保険子会社はマイナス要因となったが、⑩のその他（連結調整等）が連結納税導入影響やReAssure社売却損失引当金の戻入がプラス要因となり、連結四半期純利益は7億円の増益。

四半期純利益

(億円)



グループ連結（2020年度第1四半期）②前年同期との比較 2

四半期純利益の内訳

(億円)

	2019年度第1四半期	2020年度第1四半期	前年同期比
四半期純利益	959	966	7
国内損保 ^{※1} 保険引受利益 (除く家計地震・自賠責)	628	806	177
アード保険料 ①	6,115	6,121	5
インカードロス (含む損害調査費) ②	Δ 3,178	Δ 3,070	108
異常危険準備金損益 ③	Δ 138	Δ 33	105
事業費ほか ^{※2} ④	Δ 2,170	Δ 2,211	Δ 41
資産運用・その他 ⑤	569	469	Δ 99
その他 (特別損益・法人税等) ⑥	Δ 299	Δ 339	Δ 39
国内損保計 ⑦	897	936	38
国内生保子会社 ⑧	72	104	31
海外保険子会社 ⑨	98	Δ 259	Δ 358
その他 (連結調整等) ⑩	Δ 108	186	294

※1 国内損保は、三井住友海上とあいおいニッセイ同和損保の金額の合計

※2 「事業費ほか」には、為替損益などが含まれる

グループ連結（2020年度第1四半期）③グループ修正利益

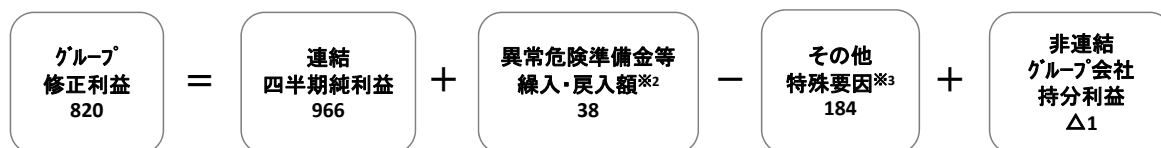
・海外事業の減益を主因にグループ修正利益は△308億円の減益。

(億円)

	2019年度 第1四半期	2020年度 第1四半期	前年同期比
グループ修正利益 ^{※1}	1,128	820	△ 308
国内損保事業	910	907	△ 2
国内生保事業	78	107	28
海外事業	131	△ 209	△ 341
金融サービス事業/リスク関連事業	7	15	7

※1 「グループ修正利益」の定義は最終ページご参照。なお「グループ修正ROE」は年度末に開示。

(参考)



※2 繰入の場合は加算、戻入の場合は減算

※3 のれん償却等△55、特別損益(除く価格変動準備金)等239 [連結納税導入影響のうち194を含む]

グループ連結（2020年度第1四半期）④当年度発生自然災害ロス（国内）、新型コロナの影響

- ・第1四半期の国内自然災害ロスはMSとADの2社合計で26億円。
- ・新型コロナに起因するインカードロスは、国内損保子会社で21億円、海外保険子会社で118億円、合計で140億円。

国内自然災害の影響

(億円)

	インカードロス		
	2019年度 第1四半期	2020年度	
		第1四半期	前年同期比
三井住友海上	0	16	16
あいおいニッセイ同和損保	4	9	5
合計	4	26	22

(参考) 7月豪雨による元受保険金支払見込額[※]は現時点で約280億円から約330億円。

※当社グループ元受100%、他社幹事分を含まないベース

新型コロナに起因するインカードロスの影響

(億円)

	インカードロス				
	MS	AD	海外保険子会社		
			MS Amlin		
新型コロナに起因するインカードロス	140	7	14	118	116

MS：海外旅行保険、興行中止保険

AD：本社再保険事業等

MS Amlin：利益保険、保証・信用保険、興行中止保険等(再保険を含む)

国内損害保険会社（2020年度第1四半期）①主要2社の業績概要 1

- ・ 正味収入保険料は再保険コストの増加、自賠償保険の減収などにより減収。
- ・ 保険引受利益（異常危険準備金反映前）は自動車保険の損害率低下を主因に72億円の増加。

(億円)

	2社合計(単純合計)		三井住友海上(単体)		あいおいニッセイ同和損保	
		前年同期比		前年同期比	(単体)	前年同期比
正味収入保険料 ^{※1}	6,877	Δ 89	3,754	Δ 32	3,123	Δ 56
アード保険料 ^{※2}	6,121	5	3,396	Δ 16	2,724	22
インカードロス(含む損害調査費) ^{※2} (－)	3,070	Δ 108	1,696	Δ 74	1,373	Δ 34
保険引受に係る事業費 ^{※2} (－)	2,181	65	1,188	72	993	Δ 6
諸手数料及び集金費 ^{※2}	1,335	59	706	43	629	16
営業費及び一般管理費 ^{※2}	845	5	482	28	363	Δ 23
保険引受利益(異常危険準備金反映前)	839	72	489	Δ 17	349	90
異常危険準備金損益	Δ 33	105	1	43	Δ 34	61
保険引受利益	806	177	490	25	315	152
EI損害率 ^{※2}	50.2%	Δ 1.8pt	50.0%	Δ 1.9pt	50.4%	Δ 1.7pt
正味損害率 ^{※1}	58.4%	Δ 0.2pt	59.8%	0.1pt	56.9%	Δ 0.5pt
正味事業費率 ^{※1}	34.6%	1.7pt	33.9%	2.1pt	35.3%	1.0pt
コンバインド・レシオ ^{※1}	93.0%	1.5pt	93.7%	2.2pt	92.2%	0.5pt

※1 全種目ベース

※2 除く家計地震・自賠償ベース

※ アード(既経過)保険料は、未経過保険料(除く自然災害責任準備金)・保険料積立金等を調整して算出

国内損害保険会社（2020年度第1四半期）①主要2社の業績概要 2

- ・ 有価証券評価損は前年同期より減少したものの、有価証券売却益や利配収入が減少したことなどから資産運用損益は減少。

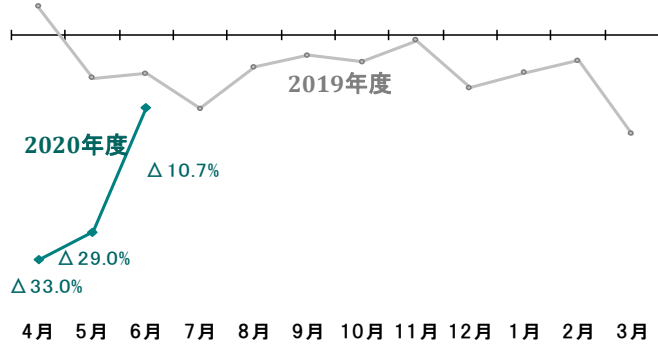
(億円)

	2社合計(単純合計)		三井住友海上(単体)		あいおいニッセイ同和損保	
		前年同期比		前年同期比	(単体)	前年同期比
保険引受利益	806	177	490	25	315	152
ネット利息及び配当金収入	431	Δ 60	291	Δ 37	140	Δ 23
有価証券売却損益	102	Δ 96	68	Δ 69	33	Δ 27
有価証券評価損 (－)	13	Δ 28	6	Δ 6	7	Δ 22
資産運用・その他収支	469	Δ 99	344	Δ 54	125	Δ 44
経常利益	1,276	78	834	Δ 28	441	107
特別損益	Δ 46	Δ 25	Δ 11	1	Δ 35	Δ 26
税引前四半期純利益	1,230	53	823	Δ 27	406	80
法人税等	293	14	197	4	96	10
四半期純利益	936	38	626	Δ 31	309	70
	2社合計					
		前年同期比				
(参考)政策株式売却額	126	Δ 134				

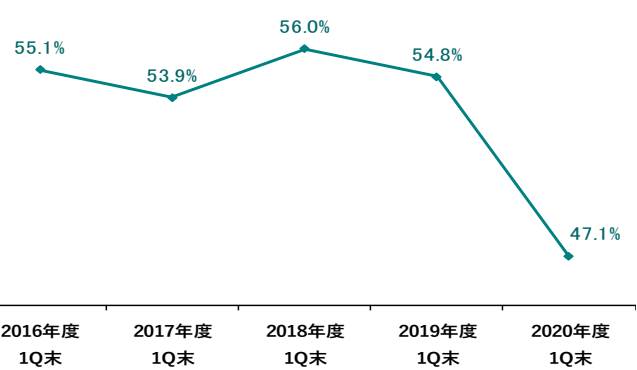
国内損害保険会社（2020年度第1四半期）②自動車保険の状況

- ・ 事故件数は、新型コロナの感染拡大を受けた外出自粛による交通量の減少を受け年度累計で前年同期比△23.2%の減少。
- ・ EI損害率は△7.7pt低下の47.1%。保険金単価は上昇傾向が続いているが、事故件数の減少が寄与。

事故件数の推移（国内、1日あたり、対前年同月。除く自然災害）
（MS・AD 2社単純合算ベース）



EI 損害率の推移（含む損害調査費）
（MS・AD 2社単純合算ベース）



保険料・保険金

三井住友海上

<国内・営業ベース>	契約台数	保険料単価	保険料
保険料増減要因	Δ 0.6%	+1.9%	+1.2%
<国内>	対物	車両（除く自然災害）	
保険金単価増減	+1.2%	+1.5%	

あいおいニッセイ同和損保

<国内・営業ベース>	契約台数	保険料単価	保険料
保険料増減要因	+0.0%	+1.9%	+1.8%
<国内>	対物	車両（除く自然災害）	
保険金単価増減	+1.8%	+1.0%	

※ 保険料増減要因の諸数値は営業成績ベース(4-6月)の対前年同期比

※ 保険金単価の増減は、2020年3月末過去1年間の保険金単価に対する、2020年6月末過去1年間の保険金単価の増減を表示

※ EI損害率算出対象期間は、各年度の4-6月

国内生命保険会社 三井住友海上あいおい生命（2020年度第1四半期）業績概要

- ・ 新契約高は、新型コロナの影響を主因に△1,686億円の減少の3,335億円。
- ・ 四半期純利益は、責任準備金繰入負担の減少などにより28億円増益の48億円。

三井住友海上あいおい生命

(億円)

	2019年度 第1四半期		2020年度 第1四半期	
			前年同期比	増減率
新契約高（個人合計）	5,021	3,335	Δ 1,686	Δ 33.6%
新契約年換算保険料	66	47	Δ 19	Δ 29.3%
うち 第三分野	48	28	Δ 20	Δ 41.8%
保有契約高（個人合計）	(期首) 244,580	243,349	(期首比) Δ 1,230	Δ 0.5%
保有契約年換算保険料	(期首) 4,481	4,459	(期首比) Δ 21	Δ 0.5%
うち 第三分野	(期首) 1,381	1,393	(期首比) 12	0.9%
保険料(グロス収入保険料)	1,225	1,204	Δ 20	Δ 1.7%
経常利益	46	78	31	69.1%
特別損益	Δ 2	Δ 2	Δ 0	-
四半期純利益	20	48	28	141.3%
基礎利益	36	63	27	75.7%

国内生命保険会社 三井住友海上プライマリー生命（2020年度第1四半期）業績概要

- ・グロス収入保険料は、新型コロナの影響等を主因に△1,748億円の減収の785億円。
- ・四半期純利益は、ほぼ前年同期並みの55億円。

三井住友海上プライマリー生命

(億円)

	2019年度 第1四半期		2020年度 第1四半期		前年同期比	増減率
新契約高（個人合計）		2,555		792	△ 1,763	△ 69.0%
保有契約高（個人合計）	（期首）	65,140		67,801	（期首比） 2,660	4.1%
保険料（グロス収入保険料）		2,534		785	△ 1,748	△ 69.0%
経常利益		△ 36		86	123	-
特別損益		108		△ 9	△ 117	△ 108.9%
四半期純利益		52		55	3	6.7%

金利・為替影響

(億円)

金利影響		△ 136		△ 23
為替影響		19		△ 79
合計		△ 116		△ 102

海外保険子会社（2020年度第1四半期）業績概要

- ・正味収入保険料は、引受規律の強化やMS Amlinにおける不採算種目からの撤退等もあり、為替影響（△155億円）を除くベースにおいても△3.0%の減収。
- ・新型コロナの影響(インカードロス・金融市場変動による評価損等の発生)等によるMS Amlinの△222億円の減益、海外生保の△145億円の減益を主因に△358億円の減益。

海外保険子会社

(億円)

	2019年度 第1四半期		2020年度 第1四半期		前年同期比	増減率
正味収入保険料		2,702		2,464	△ 237	△ 8.8%
アジア		473		437	△ 36	△ 7.7%
欧州		2,120		1,926	△ 194	△ 9.2%
米州		107		101	△ 6	△ 6.0%
四半期純利益		98		△ 259	△ 358	△ 363.9%
アジア		36		39	3	9.6%
欧州		19		△ 189	△ 208	△ 1,064.8%
米州		3		△ 4	△ 7	△ 226.4%
海外生保		39		△ 105	△ 145	△ 371.2%

(ご参考) 国内損害保険会社 (2020年度第1四半期) 主要2社の業績概要 1

正味収入保険料

(億円)

	2社合計(単純合計)		三井住友海上(単体)		あいおいニッセイ同和損保 (単体)	
		増収率		増収率		増収率
火災	762	△6.2%	381	△4.2%	380	△8.2%
海上	160	△9.3%	141	△10.2%	18	△2.1%
傷害	568	1.7%	408	1.9%	159	0.9%
自動車	3,556	0.7%	1,715	0.5%	1,841	0.9%
自賠責	768	△5.3%	406	△4.9%	362	△5.7%
その他	1,061	△1.2%	701	0.7%	360	△4.8%
合計	6,877	△1.3%	3,754	△0.9%	3,123	△1.8%
除く家計地震・自賠責	6,107	△0.7%	3,347	△0.3%	2,759	△1.2%

(ご参考) 国内損害保険会社 (2020年度第1四半期) 主要2社の業績概要 2

EI損害率 (2社単純合算)

	EI損害率			EI損害率(除く自然災害影響)		
	2019年度	2020年度	前年同期比	2019年度	2020年度	前年同期比
	第1四半期	第1四半期		第1四半期	第1四半期	
火災 (除く家計地震)	48.0%	52.3%	4.3pt	48.9%	49.4%	0.5pt
海上	47.5%	56.4%	8.9pt	47.6%	56.5%	8.9pt
傷害	52.4%	48.8%	△3.6pt	52.4%	48.8%	△3.6pt
自動車	54.8%	47.1%	△7.7pt	54.8%	47.2%	△7.6pt
その他	47.0%	58.1%	11.1pt	47.0%	58.0%	11.0pt
合計 (除く家計地震・自賠責)	52.0%	50.2%	△1.8pt	52.1%	49.7%	△2.4pt

※ インカードロス＝正味支払保険金＋損害調査費＋支払備金積増額

※ EI損害率の分母となるアード(既経過)保険料は、未経過保険料(除く自然災害責任準備金)・保険料積立金等を調整して算出

※ 「自然災害影響」は、当年度発生国内自然災害および海外自然災害のインカードロスの合計から2018年度発生自然災害に係るキャットボンド回収額を控除したものを

(ご参考) 国内損害保険会社(2020年度第1四半期) 主要2社の業績概要 3

EI損害率(三井住友海上(単体)、あいおいニッセイ同和損保(単体))

	EI損害率				EI損害率(除く自然災害影響)			
	三井住友海上(単体)		あいおいニッセイ同和損保(単体)		三井住友海上(単体)		あいおいニッセイ同和損保(単体)	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
火災 (除く家計地震)	50.7%	0.3pt	53.9%	8.5pt	50.4%	△4.1pt	48.4%	5.7pt
海上	55.0%	5.6pt	69.9%	39.2pt	55.0%	5.5pt	69.9%	39.2pt
傷害	47.7%	△4.3pt	51.4%	△2.0pt	47.7%	△4.3pt	51.4%	△2.0pt
自動車	46.2%	△7.5pt	48.1%	△7.8pt	46.2%	△7.6pt	48.0%	△7.9pt
その他	58.7%	9.6pt	56.7%	14.3pt	58.7%	9.4pt	56.6%	14.4pt
合計 (除く家計地震・自賠責)	50.0%	△1.9pt	50.4%	△1.7pt	50.0%	△2.6pt	49.4%	△2.1pt

※ インカードロス=正味支払保険金+損害調査費+支払備金積増額

※ EI損害率の分母となるアード(既経過)保険料は、未経過保険料(除く自然災害責任準備金)・保険料積立金等を調整して算出

※ 「自然災害影響」は、当年度発生国内自然災害および海外自然災害のインカードロスの合計から2018年度発生自然災害に係るキャットボンド回収額を控除したもの

(ご参考) MS Amlin 2020年度第1四半期(2020年1-3月期)業績概要※1

- ・保険引受利益は、新型コロナウイルスに起因する見込みロス84百万ポンドを織り込んだものの、概ね前期並みの水準となった。
- ・資産運用損益は、金融市場の急変動を主因にした損失の発生により、前年同期比△165百万ポンドとなった。

(百万ポンド)

	2019年度 第1四半期	2020年度 第1四半期	前年同期比
正味収入保険料	1,340	1,248	△92
アード保険料	725	704	△21
インカードロス(含む損害調査費)	499	558	59
手数料・社費	256	236	△20
保険引受利益	△51	△56	△5
資産運用損益※2	104	△62	△165
その他損益※3	△33	△23	10
四半期純利益	24	△136	△159
EI 損害率	68.9%	79.2%	10.3pt
EI 事業費率※4	38.1%	28.7%	△9.4pt
EI コンバインド・レシオ※4	107.0%	107.9%	0.9pt

※1 現地管理ベース

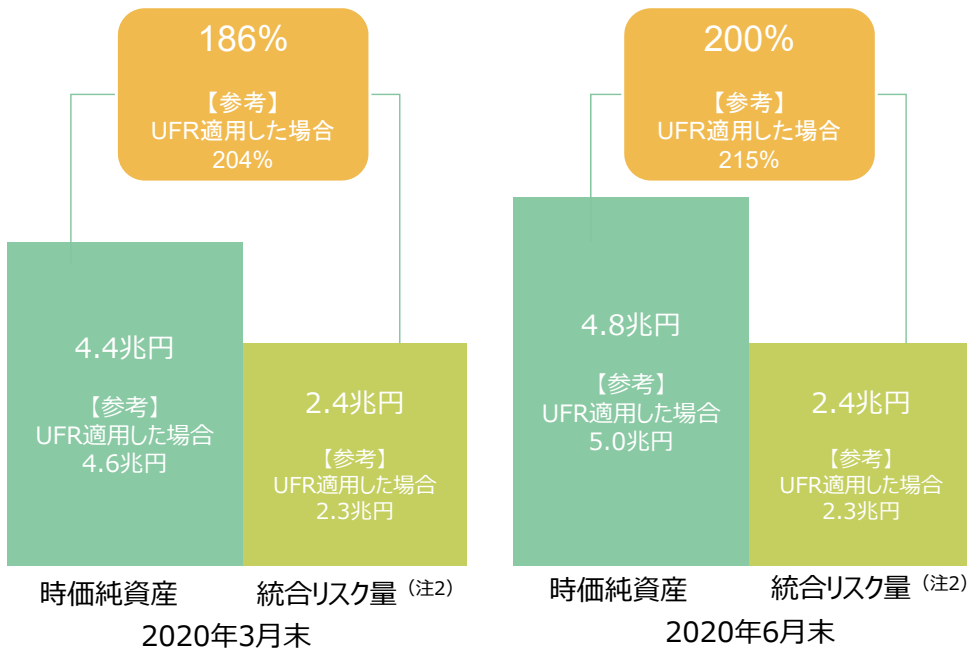
※2 MS Amlinは有価証券の時価変動を損益に反映させる会計処理方法を採用

※3 保険事業会社以外で生じる経費等

※4 EI 事業費率およびEI コンバインド・レシオは、現地管理に合わせて保険引受利益に含まれる為替差損益を含めて算出

(ご参考) ESRの状況

ESR^(注1)



<ESRの主な増減要因> (2020年3月末対比)

ESRは、主に以下のような要因により14pt上昇。

- ✓ 時価純資産は、第1四半期の利益による内部留保の増加や国内株価・国内金利の上昇により増加。
- ✓ 統合リスク量は、国内株価の上昇により増加したものの、国内金利の上昇による減少により、ほぼ横ばい。

<市場環境前提>

	2020年 3月末	2020年 6月末	対3月末比
日経平均株価	18,917円	22,288円	+3,371円
国債30年金利	0.43%	0.60%	+0.17pt
為替(ドル円)	109円	108円	△1円

(注1) ESR : エコノミック・ソルベンシー・レシオ (=時価純資産÷統合リスク量)
(注2) 統合リスク量 : 信頼水準99.5%のVaR (Value at Risk) でリスク量を計測。

この資料では、社名表示に次の略称を使用している箇所があります。

- ・ MS&ADホールディングス、持株会社 (＝MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス(株))
- ・ MS&AD (＝MS&ADインシュアランス グループ)
- ・ 三井住友海上、MS (＝三井住友海上火災保険(株))
- ・ あいおいニッセイ同和損保、AD (＝あいおいニッセイ同和損害保険(株))
- ・ 三井ダイレクト損保、MD (＝三井ダイレクト損害保険(株))
- ・ 三井住友海上あいおい生命、MSA生命 (＝三井住友海上あいおい生命保険(株))
- ・ 三井住友海上プライマリー生命、MSP生命 (＝三井住友海上プライマリー生命保険(株))
- ・ MS Amlin (＝AUL、AAG、AISE、ACSを主とする各事業の合計)
 - AUL(＝MS Amlin Underwriting Limited)
 - AAG(＝MS Amlin AG)
 - AISE(＝MS Amlin Insurance SE)
 - ACS(＝MS Amlin Corporate Services Limited)
- ・ ReAssure (＝ReAssure Group Plc)
- ・ Phoenix (＝Phoenix Group Holdings plc)

「グループ修正利益」の定義

グループ修正利益 = 連結当期利益 + 異常危険準備金等繰入・戻入額 - その他特殊要因（のれん・その他無形固定資産償却額等）+ 非連結グループ会社持分利益

修正純資産 = 連結純資産 + 異常危険準備金等 - のれん・その他無形固定資産

グループ修正ROE = グループ修正利益 ÷ 修正純資産（期初・期末平均）

予想および見通しに関する注意事項

この資料に記載されている内容のうち、MS & ADホールディングスならびにグループ各社の将来に関する計画や戦略、業績に関する予想や見通しは、現時点で把握できる情報から得られた当社グループの判断に基づいています。実際の業績は、さまざまな要因によりこれらの業績見通しと異なる結果になり得ることをご承知おき下さいますようお願いいたします。実際の業績に影響を及ぼし得る要因としては、(1)事業を取り巻く経済動向、(2)保険業界における競争激化、(3)為替レートの変動、(4)税制など諸制度の変更、などがあります。

お問い合わせ先

MS&AD インシュアランス グループ ホールディングス株式会社
広報・IR部

TEL: 03-5117-0311

URL: <https://www.ms-ad-hd.com/ja/ir/contact.html>